観光地域づくり法人形成･確立計画

記入日：令和７年７月３１日

１．観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを〇で囲むこと	地域ＤＭＯ	
観光地域づくり法人の名称	一般財団法人　矢掛町観光交流推進機構	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	岡山県小田郡矢掛町	
所在地	岡山県小田郡矢掛町矢掛 1989 番地	
設立時期	平成 31 年 4 月 1 日	
事業年度	4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの１年間	
職員数	７人【常勤２人（出向２人）、非常勤５人】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） ※必ず記入すること	（氏名） 堀　伸二 （出身組織名） 一般財団法人矢掛町観光交流推進機構　理事長	一般財団法人矢掛町観光交流推進機構の理事長として、地域の観光事業の推進と地域や事業者等との様々なパイプ役となっている。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（ＣＭＯ：チーフ・マーケティング・オフィサー ※必ず記入すること	（氏名） 岸本　健吾【専従】 （出身組織名） 矢掛町	矢掛町（地方自治体）で 17 年間勤務。豊富な行政経験により、データ分析とマーケティングに高い能力を持つ。
財務責任者（ＣＦＯ：チーフ・フィナンシャル・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 岸本　健吾 （出身組織名） 矢掛町	矢掛町（地方自治体）で 17 年間勤務。豊富な行政経験により、財務に高い能力を持つ。
各部門（例：プロモーション）の責任者（専門人材）	（氏名） 岸本　健吾 （出身組織名） 矢掛町	矢掛町（地方自治体）で 17 年間勤務。豊富な行政経験により、国内外の観光企画とプロモーションに高い能力を持つ。

様式１

<table>
<tr><td>※各部門責任者のうち専従の者については、氏名の右横に「専従」と記入すること</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>各部門（例：旅行商品の造成･販売）の責任者（専門人材）</td><td>（氏名）
桑木　晃太郎
（出身組織名）
矢掛町</td><td>矢掛町で 10 年間勤務（うち観光部門に 3 年間勤務）。</td></tr>
<tr><td>連携する地方公共団体の担当部署名及び役割</td><td colspan="2">岡山県矢掛町産業観光課（観光振興・農林業振興・商工業振興・観光政策）
建設課（社会資本整備・公園）
企画財政課（地域公共交通・総合戦略）
教育課（文化財観光活用・美術館）</td></tr>
<tr><td>連携する事業者名及び役割</td><td colspan="2">二葉観光運輸株式会社（観光周遊バス，着地型旅行商品開発，二次交通確保）
井原鉄道（公共交通アクセス改善）
株式会社シャンテ（宿泊商品開発）
株式会社やかげ宿（イベント企画実施）
備中西商工会（特産品開発販売）
矢掛まるごと商店街振興会（特産品開発販売，賑わいづくり）
ＪＡ晴れの国岡山（特産品開発販売，6 次産業化推進）</td></tr>
<tr><td>官民･産業間･地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</td><td colspan="2">【該当する登録要件】①
（概要）観光資源の関係者、交通事業者、商工会、行政が本法人の理事，評議員に参画し、理事会及び評議員会を構成し，合意形成を行う体制としている。
〔参考〕登録要件
①取締役、理事など観光地域づくり法人の意思決定に関与できる立場で行政、文化、スポーツ、農林漁業、交通等の幅広い分野の関係団体の代表者が参画
②観光地域づくり法人が主導して行政や関係団体をメンバーとするワーキンググループなどの委員会等を設置</td></tr>
<tr><td>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</td><td colspan="2">クリームソーダキャンペーンやさつまいもキャンペーン参加店舗への説明会，情報共有会を開催している。</td></tr>
<tr><td>法人のこれまでの活動実績</td><td colspan="2">【活動の概要】
<table><tr><th>事業</th><th>実施概要</th></tr><tr><td>情報発信・プロモーション</td><td>・令和元年度～6 年度情報発信事業
ラジオを活用し，月 2 回の放送により岡山市・倉敷市を中心に矢掛町の情報を発信している。
・令和元年度～2 年度誘客促進事業
ツーリズム EXPO に出展し矢掛町の PR を行った。
県主催の旅行会社との観光商談会に参加し，大阪，広島の旅行会社への旅行商品造成プロモーションを行った。
・クリームソーダキャンペーンや大名行列イベント等におけるテレビ等への出演</td></tr></table></td></tr>
</table>

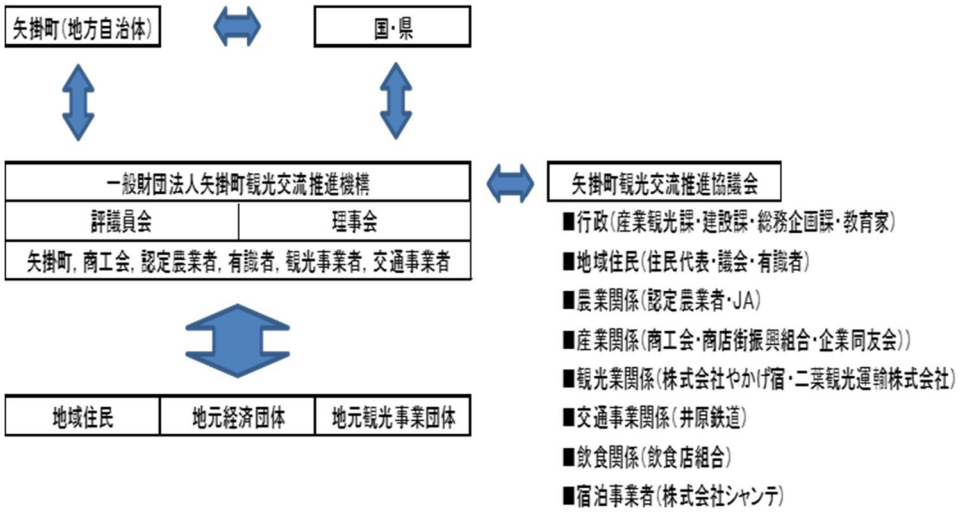
	受入環境の整備	・令和元年度～6 年度観光ガイド事業 旅行会社等からの予約に応じて本陣や町並等の観光ガイドを実施するガイド組織の運営を行っている。月 1 回会議を開催し，ガイド同士の情報交換などによりガイド能力向上を行っている。
	観光資源の磨き上げ	・令和元年度～6 年度農泊推進事業 「おかやま元気集落」に登録している町内地域と連携して農業体験コンテンツを発掘，磨き上げを行っている。大学とも連携し，SNS 等を活用した情報発信などアドバイスを行っている。

【定量的な評価】
矢掛町の観光においてはまず「矢掛町を知ってもらう」ための情報発信・PR を第一に事業を行っている。（クリームソーダキャンペーン等もその一環）
メディア等への露出増の効果もあり，矢掛町の知名度，観光客数も増加してきているが，隣接する倉敷市や岡山市等と比べるとやはりまだまだ知名度が足りない。
「面白いことをしている」，「名前をよく目にする」という印象を今よりも持ってもらうために引き続き魅力的なキャンペーン，イベント等を開催していきたい。

実施体制
※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。

【実施体制の概要】
一般財団法人矢掛町観光交流推進機構が中心となり、メンバーには、行政、宿泊業者（令和 6 年度時点では退会済み）、飲食業者のみならず、交通事業者、農業者など多様な関係者が参画するなど官民が密接に連携した運営を実施。

【実施体制図】
一般財団法人矢掛町観光交流推進機構実施体制



様式１

２．観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】

【区域設定の考え方】

平成 27 年 4 月から、区域を構成する地方公共団体である矢掛町が観光推進部署として産業観光課を設置し、顧客視点に立ち、旅行商品、イベントの企画など連携した取組を実施。

観光資源の面からみてもコンセプトとして共通する点が多く、連携した区域設定とするのが適切。

【観光客の実態等】

※設定区域における観光客入込客数、延べ宿泊者数、消費額等を踏まえて記入すること。

様式１

項目		2022（R4）年	2023（R5）年	2024（R6）年	2025（R7）年	2026（R8）年	2026（R8）年
旅行消費額（円）（一人当たり単価）	目標	日：2861 宿：21782 （　）	日：2861 宿：21782 （　）	日：2689 宿：25578 （　）	日：2689 宿：25578 （　）	日：2770 宿：26345 （　）	日：2853 宿：27135 （　）
	実績	日：2744 宿：17777	日：2611 宿：24833	日：2042 宿：17410	―	―	―
延べ宿泊者数（人）	目標	6692 （　）	6161 （　）	6905 （　）	4603 （　）	4741 （　）	4883 （　）
	実績	7.6	6.7	7.9	―	―	―
来訪者満足度（%）	目標	93.88 （　）	86.00 （　）	86.00 （　）	86.00 （　）	86.00 （　）	86.00 （　）
	実績	90.05	93.46	93.3	―	―	―
リピーター率（%）	目標	65.32 （　）	65.00 （　）	65.00 （　）	65.00 （　）	65.00 （　）	65.00 （　）
	実績	69.25	65.40	68.9	―	―	―

年	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
入込客数（人）	288,460	330,105	296,656	334,498	275,645	524,024	554,567	581,411	554,709
対前年比（%）	1%増	14%増	10%減	12%増	18%減	190%増	106%増	105%増	5%減
備考			西日本豪雨災害発生による減		新型コロナ流行による減	道の駅開業による増			

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

市街の見どころ

矢掛本陣石井家住宅

寛永12年(1635)から幕末まで200年以上本陣職をつとめた石井家は庄屋であるとともに酒造業を営み、矢掛きっての豪商、大地主でもありました。建物には建築の粋がこらされ、国の重文に指定されています。

月曜休館　有料　●矢掛3079　☎0866-82-2110（美術館）

矢掛脇本陣高草家住宅

大名の泊まる本陣職が世襲であったのに対し、それ以下が泊まる脇本陣は時に応じて指定され、矢掛では7~8軒の商家が務めました。庭瀬藩の掛屋（会計方）であり、藩札の発行もした最後の脇本陣 高草家の建物がそのままに残され、本陣と共に国の重文に指定されています。土日のみ公開。有料

●矢掛1981　☎0866-82-2100　（教育委員会）

脇本陣裏通り

脇本陣の東側にある焼板壁と海鼠壁に挟まれた「大高草小路」を抜けると、荷物運搬や排水に利用された細い用水路にぶつかります。矢掛の町と村を分けた境で、水路と脇本陣の米蔵に挟まれて細い道が続いています。●矢掛1981

やかげ郷土美術館

高さ16mもある赤松板張りの水見やぐらが目を引く美術館。収蔵品は矢掛出身の書家・田中塊堂と洋画家・佐藤一章の作品が中心。ピカソが矢掛出身の三菱地所の元会長・渡邊氏のために描いた闘牛士の絵も保管され、毎年2月に公開。

●矢掛3118-1　☎0866-82-2110

やかげ町家交流館

江戸時代には脇本陣を務め、明治期には酒店だった建物を再生して観光拠点・やかげ町家交流館として蘇りました。店では矢掛特産品の販売、奥の谷山サロンでは毎週末のイベントを開催。

●矢掛2639　☎0866-63-4446

矢掛屋本館

江戸時代には庭瀬藩の掛屋（蔵物代金の取扱い、金融業）でしたが、2015年3月に和モダンの旅館に生まれ変わり、宿場町矢掛が復活しました。表通りから入り、通り土間をぬければ、蔵に囲まれた広い内庭に出ます。

●矢掛3118-1　☎0866-82-0111

妻入り五軒並び

屋根の棟(むね)と直角に交わる三角形の面「妻(つま)」の側に出入口がある形式を「妻入り」と言います。中町の東寄りには五軒の妻入り町家が立ち並ぶ一画が有ります。頂稜の鬼瓦、愛らしい妻面の表情、ほぼ同じ高さに揃った下屋庇、そして軽やかな格子戸が見どころです。●矢掛2599、2598、2595、2591、2588

古意庵

交易の中心として栄えた矢掛では様々な文物が行き交い、逸品を積極的に収集したご主人が、嘉永5年(1852)に建てられた土蔵を改造して私設美術館を作り上げました。いわく「路地裏美術館」。そこには正に生活の文化が息づいています。

月曜休館　有料　●矢掛2603　☎0866-82-0951

石井醤油店

この家は明治42年、本陣石井家から分家し、副業であった醤油醸造業を引き継ぎ、北石井と呼ばれました。以来、今でも奥の蔵で伝統的な製法で醤油を生産しています。

●矢掛3086　☎0866-82-0065

専教寺臥龍松

矢掛を代表する浄土真宗本願寺派の寺。表通りから一歩奥に入った寺を囲む堀の上には黒松が高々と聳えています。境内に入れば、樹齢300年の枝が16mにわたって正に龍の様に、北に向けて水平に伸びています。

●矢掛2033　☎0866-82-0488

矢掛の一里塚

慶長8年(1603)東町の今のミヤケスタジオの位置に一里塚が設置されました。街道の両側に小山を築き、松を植え、旅人に里程を知らせ、安息の場を提供しました。一里は約4km。●矢掛1946-6

旧吉岡醤油店

石貼風の4本の段違いの柱を並べた姿は大正モダンの意気込みにあふれています。正面のマークは○に「か」でワカと読み、玉島のワカヤ醤油から暖簾分けされた屋号。

●矢掛3167

栄橋

昭和13年にできた旧山陽道の西端の美山川をわたる橋。鉄骨造のトラス橋で、懐かしいリベット鈑が使用されています（現在はボルト接合が主流）。江戸時代には旅人はこの川を歩いてわたり、橋の袂には「高通川徒渡し跡」と彫られた石柱があります。

矢掛町の月替わりイベント

月	イベント名	内容	問い合わせ先
1月	吉備大臣宮元旦祭	元旦・吉備真備公園：吉備真備公にあやかり、学問、習字等の上達を願う人々が参拝。	吉備真備公園 0866-83-1265
2月	矢掛本陣マラソン全国大会	2月第3日曜日・矢掛町総合運動公園：ハーフ（陸連公認）、10km、5.7km、3km。多様な景品が有名。	矢掛町B&G海洋センター 0866-83-1100
3月	大仙院春季大祭	3月第1日曜日・矢掛大仙院：春の訪れを祝い、先祖代々の精霊追善供養が行われます。	0866-82-0226
	流しびな	3月最終日曜日・本陣通り、小田川弦橋西河原：流しびな行列とひな流し行事が行われます。	宿場町やかげ流しびな実行委員会 0866-82-0025
4月	吉祥寺海棠まつり	4月第2日曜日・吉祥寺：矢掛の北外れ、棚田地帯のお寺に咲き誇る海棠を賞でるお祭り。	0866-82-1049
	圀勝寺のつばき祭り	4月中旬・圀勝寺：樹齢350年をこえると言われる椿の大木の下に真紅の絨毯が広がります。	0866-82-0629
5月	吉備公祭	5月5日・吉備真備公園：真備公の功績を讃えて、境内の舞台で子供神楽や歌謡ショーを開催。	吉備真備公園 0866-83-1265
6月	宇内ホタル観賞旬間	6月上旬・宇内：矢掛の蛍のメッカでは毎年6月上旬に羽化した蛍が神秘的な舞いを見せます。	町役場産業観光課 0866-82-1016
7月	矢掛夏まつりと行灯まつり	7月中旬~8月上旬・矢掛本陣通り：暑い夏の夜を夜店で涼み、矢掛小唄踊りを楽しみましょう。	やかげ町屋交流館 0866-63-4446
8月	小田の夏まつり・花火大会	8月第1日曜日・小田商店街：商店街を埋め尽くす出店と子供神楽、そして9時から花火と熱気にあふれる夜祭りです。	備中西商工会 0866-82-0559
9月	美川の彼岸花	9月中~下旬・美山川の河原：年によって時期はずれますが河原が真紅の彼岸花でうまります。	町役場産業観光課 0866-82-1016
11月	矢掛の宿場まつり・大名行列	11月第2日曜日・本陣通り：昭和51年以来毎年続く矢掛町最大の行事。100名近い行列が3時間にわたって練り歩きます。	備中西商工会 0866-82-0559
	自然薯まつり	11月第4日曜日・水車の里フルーツトピア：秋の収穫を祝って山芋や野菜の即売とミュージック。	水車の里 0866-83-3423
	備中神楽	稲の刈入れのあとはあちこちで備中神楽が奉納され、田んぼや山の中に神楽太鼓が響きわたります。	町役場産業観光課 0866-82-1016
12月	山ノ上干し柿まつり	12月第3日曜日・山ノ上公会堂：正に山の上で丹誠込めて作られたその年の干柿のデビューを祝うおまつりです。	山ノ上干柿生産組合 0866-82-2828

矢掛町郊外のおすすめスポット

名称	内容	住所
曹洞宗吉祥寺	月変りイベント4月参照	上高末4050
美川地区の美山川	月変わりイベント9月参照	下高末（美川地区）
曹洞宗大通寺	書院北側に石庭が広がり、第2日曜日の朝8時からは30分ほどの坐禅体験が可能	小林1815
亀島キャンプ場	矢掛市街の裏山にある池畔のキャンプ場。上部の巨岩にはボルダリングルートが拓かれていて眺めも最高	矢掛2806
矢掛町総合運動公園	グラウンドやトラックのほかに、踊る噴水、複合遊具、芝生広場、芝すべりなどの遊び場もあり子どもたちに超人気。月変りイベント2月参照	矢掛342
宇内ホタル公園	月変わりイベント6月参照	宇内69
山ノ上公会堂	月変わりイベント12月参照	小田2460
真言宗圀勝寺	月変りイベント4月参照	東三成1344
吉備真備公園	月変わりイベント5月参照	東三成3872-2
猿掛城址	矢掛の東端の猿掛山／239mには鎌倉時代初期から400年にわたって一帯の権力闘争の中心となった山城・猿掛城が有りました。井原線三谷の駅から往復2時間で戦国時代の空気にふれられます	横谷
ヤッホー公園	遙照山の中腹250mにある公園。登山道を歩いて、または車で登れます。展望台からは見事な田園風景や雲海が見られます	南山田
古墳群	矢掛では弥生時代後期の竪穴式古墳と古墳時代後期の横穴式古墳が多数見られます。特に里山田地区の橋本荒神塚、南山田の小迫大塚古墳は必見	里山田、南山田
曹洞宗洞松寺	宗立専門僧堂として多くの修行僧を受け入れ、外国人も多い。遙照山の懐にあり、いかにも深山の禅寺という雰囲気にあふれています	横谷3796

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】
■矢掛屋　　14 室（48 名）
■備中屋　　2 室（20 名）
■蔵 INN　-KURABI-　7 室（14 名）
■蔵 INN　=KAMON=　　6 室（17 名）

【利便性：区域までの交通、域内交通】
■ＪＲ山陽本線倉敷駅から伯備線で一駅、清音駅乗り換え　井原鉄道で矢掛駅へ約２０分
■ＪＲ山陽本線岡山駅から伯備線に乗車、清音駅乗り換え　井原鉄道で矢掛駅へ約２０分
■ＪＲ山陽本線福山駅から福塩線に乗車、神辺駅乗り換え　井原鉄道で矢掛駅へ約３０分
■路線バス　井笠バスカンパニー（矢掛～笠岡），北辰バス（矢掛～井原）
■自家用車　山陽自動車道　玉島ＩＣから 25 分，鴨方ＩＣ20 分，笠岡ＩＣから 25 分

【外国人観光客への対応】
英語版パンフレット，英語版観光コンテンツ詳細情報紙，英語版観光動画作成・配信

３．各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
ＷＥＢサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	矢掛町のＨＰを活用して実施。
住民満足度	観光振興に対する地域住民の理解度を測るため。	アンケート調査を自主事業として実施。（予定）
観光消費額	観光による経済効果等の把握	アンケート調査を自主事業として実施

４．戦略

（１）地域における観光を取り巻く背景

矢掛町では、人口減少が進んでおり、就業者数の最も多い農林水産業においても高齢化等の影響で就業者や事業所が減少傾向にある。こうした地域の課題に対し、観光地域づくり法人（ＤＭＯ）を中心として既存の観光資源を活用した観光地域づくりを図り、新たな雇用の創出や担い手不足の解消、交流人口の増加につなげることとしている。

（２）地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	**強み（Strengths）** **悠久の時を感じさせる吉備国からの歴史文化と江戸時代には宿場町として栄えた町並み** **国内唯一の本陣・脇本陣・問屋の三施設がそろって往年の姿のまま現存している**	**弱み（Weaknesses）** **観光事業への取り組み経験が浅い** **矢掛町内だけでは滞在時間的に十分ではない（周遊できる場所が不足している）**

	アルベルゴディフーゾタウンとしてアジア初の認定	
外部環境	**機会（Opportunity）** **道の駅など観光拠点施設の充実、無電柱化の整備及び重要伝統建築物保存地区の指定**	**脅威（Threat）** **人口減少による国内観光客の減少と観光事業者を含む人材不足**

※上記に加え、ＰＥＳＴ分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

（３）ターゲット

○第１ターゲット層 関西・中四国地方の国内旅行者
○選定の理由 岡山県は関西・中四国等の隣接県からの交通の利便性が高く、短期間の旅行地域として来訪者が多く、当該ターゲットの来訪が期待できる。また，観光アンケート調査の集計結果からも県内に次いで広島県や香川県等の中四国，近畿エリアからの来訪が多い結果が出ているため。 ○取組方針 満足度調査の充実などにより再来訪意向につながる要因を分析し、分析結果に基づいてターゲット層に強力に訴求するコンテンツを磨き上げる。
○ターゲット層 海外からの学生を中心としたインバウンド
○選定の理由 矢掛町は地域での教育が充実しており、小学校、中学校、高等学校がそれぞれ地域と連携しながら地域学習や交流学習を推進しており、海外からの学生の当該ターゲット層が期待される。また岡山県が誘致に力を入れているアジア圏の教育旅行では地域の学校の児童や生徒との交流を希望する学校が多いという県や県観光連盟からの情報も踏まえている。 矢掛町はアメリカ国務省の「重要言語奨学金（CLS）プログラム」（国家安全保障や経済発展の観点から重要な役割を果たす人材の養成を目的とした米国務省が実施しているプログラム）の派遣先である岡山大学からの依頼を受け，３年連続で外国人留学生の受け入れを行っており，毎年学生から非常に高い評価を受けており，学生と地元の住民（高校生含む）との交流に対する満足度も高い。 ○取組方針 満足度調査の充実などにより再来訪意向につながる要因を分析し、分析結果に基づいてターゲット層に強力に訴求するコンテンツを磨き上げたい。

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	**「江戸の足音が聞こえるまち」持続発展する観光まちづくり** **～地域と観光が共存する観光マネジメントへの挑戦～** 現存する地域の観光資源（歴史，文化，地域住民）を活用しながら、地域に生活する住民と観光客が共存し、矢掛町の魅力を体験することにより訪れてみたい町から住んでみたい町への発展を目指す。

②コンセプトの考え方	単に観光客の満足度向上を目指すだけでなく、地域に住む人々の満足度を向上させるため、利益追求だけでなく町民と一体となった観光産業の創出に取り組み、町民に地域の魅力を再認識していただき、自分の町に誇りを持つとともに、来訪者の増から定住者の増へつなげ、持続発展する矢掛町を実現する。特に観光の中心となる矢掛市街地では商店街の住民や観光事業者で構成される団体（やかげまるごと商店街振興会）と連携し，周遊促進やおもてなしの実施を目指す。また，「おかやま元気集落」に登録されている集落を中心に農業体験や地域のお祭り，風習などを体験でき，農村ならでは温かいおもてなしを通じて矢掛町の魅力を体験してもらう。

５．関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	ＤＭＯを中心として、理事会及び評議員会等において、行政と観光関係者と地域住民が定期的に意見交換し、観光推進体制を強化する。また、地域の関連事業者を集めてコミュニーションの場を設けるとともに、関連事業者に対してのコンサルティング等を実施する。
	ＤＭＯの理事会を月１回開催し，事業の進捗，観光の情勢把握等の情報交換，検討を行っている。また，評議員会を年１回開催し，活動の意義・内容・成果、ＫＰＩの達成状況や取組による地域経済・社会の変化の分析結果等を記載した事業報告書を作成し、報告するとともに多様な分野からの観光に関する意見交換等の機会としている。 ＤＭＯの事業報告書はＨＰでも行っている。
観光客に提供するサービスについて、維持･向上・評価する仕組みや体制の構築	飲食店や宿泊施設をはじめとする事業者が提供する観光サービスに係るコンサルティング及び意見交換を実施。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信･プロモーション	ワンストップ窓口の実施、ＳＮＳを利用した効果的なプロモーションを実施。

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

様式１

６．ＫＰＩ（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後３年間における明確な数値目標を記入すること。
※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去３年間の実績も記入すること。

（１）必須ＫＰＩ

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●旅行消費額（円）（一人当たり単価）	目標	日：2,861 泊：21,782	日：2,861 泊：21,782	日：2,689 泊：25,578	日：2,689 泊：25,578	日：2,770 泊：26,345	日：2,853 泊：27,135
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	日：2,744 泊：17,777	日：2,611 泊：24,833	日：2,042 泊：17,410			
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
●延べ宿泊者数（人）	目標	6,692	6,161	6,905	4,603	4,741	4,883
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	7,556	6,704	7,930			
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
●来訪者満足度（%）	目標	93.88	86.00	86.00	86.00	86.00	86.00
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	90.05	93.46	93.3			
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
●リピーター率（%）	目標	65.32	65.00	65.00	65.00	65.00	65.00
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	69.25	65.4	68.9			
		（ ）	（ ）	（ ）			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】
【検討の経緯】
来訪者と観光消費額の増加を課題ととらえ、滞在時間及び宿泊者を増加させる取り組みを行っていく。さらに、来訪者のニーズを的確にとらえるためのアンケート調査及び観光事業者等のマーケティング調査をおこない、観光の成長（推移）を的確にとらえる。
【設定にあたっての考え方】
●旅行消費額
2018 年度の実績値を基準に、新たな観光事業へ取り組むとともに今後の成長目標を理事会等で議論し、消費を促進する観光コンテンツの開発により、旅行消費額の対前年比 3%の増加成長を目標値とする。
●延べ宿泊者数
2018 年度の実績値を基準に、新たな観光事業へ取り組むとともに今後の成長目標を理事会等で議論し、新たな宿泊施設の整備と宿泊施設等の情報発信により、延べ宿泊者数の対前年比 3%の増を目標値とする。
●来訪者満足度

2018 年度の実績値を基準に、新たな観光事業へ取り組むとともに今後の成長目標を理事会等で議論し、事業者のおもてなし精神の向上と観光資源のブラッシュアップにより、2020 年度までに対前年比 3%の増加成長を目指し、2023 年度以降は 86%維持を目標値とする。

●リピーター率

2018 年度の実績値を基準に、新たな観光事業へ取り組むとともに今後の成長目標を理事会等で議論し、クーポンなどの再来する仕組み作りに取り組むことにより、2020 年度までに対前年比 3%の増加成長を目指し、2023 年度以降は 65%維持を目標値とする。

（２）その他の目標

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●観光入込客数（人）	目標	346,979	539,744	598,853	571,350	588,490	606,145
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
	実績	554,567	581,411	554,709			
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
●WEB サイトアクセス数（件）	目標	195,861	164,829	50,167	177,282	182,600	188,078
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
	実績	159,374	48,706	172,119			
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値
※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

来訪者と観光消費額の増加を課題ととらえ、滞在時間及び宿泊者を増加させる取り組みを行っていく。さらに、来訪者のニーズを的確にとらえるためのアンケート調査及び観光事業者等のマーケティング調査をおこない、観光事業の成長（推移）を的確にとらえる。

【設定にあたっての考え方】

●（観光入込客数

2018 年度の実績値を基準に、新たな観光事業へ取り組むとともに今後の成長目標を理事会等で議論し、新たな観光コンテンツの創造と観光情報発信により、観光入込客数の対前年比 3%の増を目標値とする。

●（ＷＥＢサイトアクセス件数

2018 年度の実績値を基準に、観光サイトの見直しと有益情報の積極的発信へ取り組むとともに今後の成長目標を理事会等で議論し、対前年比 3%の増を目標値とする。

７．活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後３年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。
※現に活動している法人にあっては、過去３年間の実績も記入すること。

様式１

（１）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）
2021（Ｒ３） 年度	（円） 86,085,756	（内訳の区分例） （円） 【市町村からの補助金】54,579,856 【収益事業】31,505,900
2022（Ｒ４） 年度	（円） 79,829,153	（円） 【市町村からの補助金】20,670,150 【収益事業】59,159,003
2023（Ｒ５） 年度	（円） 52,868,000	（円） 【市町村からの補助金】44,228,000 【収益事業】8,640,000
2024（Ｒ６） 年度	（円） 36,822,254	（円） 【市町村からの補助金（一般管理費）】7,850,393 【市町村からの補助金（公益事業）】20,331,861 【収益事業】8,640,000
2025（Ｒ７） 年度	（円） 38,268,000	（円） 【市町村からの補助金（一般管理費）】9,628,000 【市町村からの補助金（公益事業）】20,000,000 【収益事業】8,640,000
2026（Ｒ８） 年度	（円） 38,268,000	（円） 【市町村からの補助金（一般管理費）】9,628,000 【市町村からの補助金（公益事業）】20,000,000 【収益事業】8,640,000
2027（Ｒ９） 年度	（円） 38,268,000	（円） 【市町村からの補助金（一般管理費）】9,628,000 【市町村からの補助金（公益事業）】20,000,000 【収益事業】8,640,000

（２）支出

年（年度）	総支出	内訳（具体的に記入すること）
2021（Ｒ３） 年度	（円） 83,241,767	（円） 【一般管理費】7,793,567 【公益事業】52,394,289 【収益事業】23,053,911
2022（Ｒ４） 年度	（円） 80,303,565	（円） 【一般管理費】8,116,615 【公益事業】57,688,758 【収益事業】14,498,192
2023（Ｒ５） 年度	（円） 49,361,504	（円） 【一般管理費】8,255,884 【公益事業】30,392,464 【収益事業】10,713,156
2024（Ｒ６） 年度	（円） 36,822,254	（円） 【一般管理費】7,850,393

		【公益事業】20,331,861 【収益事業】8,640,000
2025（Ｒ７） 年度	（円） 39,640,000	（円） 【市町村からの補助金（一般管理費）】11,000,000 【市町村からの補助金（公益事業）】20,000,000 【収益事業】8,640,000
2025（Ｒ８） 年度	（円） 39,640,000	（円） 【市町村からの補助金（一般管理費）】11,000,000 【市町村からの補助金（公益事業）】20,000,000 【収益事業】8,640,000
2026（Ｒ９） 年度	（円） 39,640,000	（円） 【市町村からの補助金（一般管理費）】11,000,000 【市町村からの補助金（公益事業）】20,000,000 【収益事業】8,640,000

（３）自律的･継続的な活動に向けた運営資金確保の取組･方針

矢掛町の資源を活用した着地型旅行商品の企画･販売等を実施し、運営資金の確保を行う。また、安定的な資金確保の方法として、町有施設の指定管理を受託している

８．観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

岡山県矢掛町は、一般財団法人矢掛町観光交流推進機構を矢掛町における地域ＤＭＯとして認めます。

９．マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携ＤＭＯ（県単位以外）や地域ＤＭＯと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

【他の地域連携ＤＭＯや地域ＤＭＯとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った（行っている）か】

（例）エリアが重複する●●ＤＭＯとは、月に一度の連絡会を行い、各取組の意見交換を行っている。

【区域が重複する背景】

【重複区域における、それぞれの DMO の役割分担について】

※重複する活動がないか、第三者から見た際に合理的と捉えられる役割分担になっているか等を踏まえて記入すること。

【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】

様式１

１０．記入担当者連絡先

担当者氏名	桑木　晃太郎
担当部署名（役職）	主事
郵便番号	714-1201
所在地	岡山県小田郡矢掛町矢掛 1989 番地
電話番号（直通）	0866-83-0001
ＦＡＸ番号	0866-83-0025
Ｅ－ｍａｉｌ	k-kuwagi@yakage-dmo.or.jp

１１．関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県･市町村名	岡山県・矢掛町
担当者氏名	池田 敏之
担当部署名（役職）	産業観光課　課長
郵便番号	714-1297
所在地	岡山県小田郡矢掛町矢掛 3018
電話番号（直通）	0866-82-1016
ＦＡＸ番号	0866-82-1454
Ｅ－ｍａｉｌ	t-ikeda@town.yakage.lg.jp

（登録）【地域DMO】一般財団法人矢掛町観光交流推進機構（やかげDMO）

様式２

記入日：　令和7年　7月　31日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】
　岡山県　小田郡　矢掛町
【設立時期】 平成31年4月1日
【設立経緯】
区域に観光協会等がなかったことから，観光に関する事業を中心となって行うDMOを新設した。
【代表者】 代表理事　堀伸二
【マーケティング責任者（CMO）】 事務局長　岸本健吾
【財務責任者（CFO）】 事務局長　佐藤武宏
【職員数】 7人（常勤2人（出向2人）、非常勤5人）
【主な収入】
　収益事業　1．9百万円、委託事業　8．7百万円（令和6年度決算）
【総支出】
　事業費　28百万円、一般管理費　7．8百万円（令和6年度決算）
【連携する主な事業者】
　二葉観光運輸株式会社，井原鉄道，株式会社矢掛屋，株式会社やかげ宿，備中西商工会，矢掛まるごと商店街振興会，JA晴れの国岡山

KPI（実績・目標）

※（　）内は外国人に関するもの。

項目		2022（R4）年	2023（R5）年	2024（R6）年	2025（R7）年	2026（R8）年	2026（R9）年
旅行消費額（円）（一人当たり単価）	目標	日：2861 宿：21782 （　）	日：2861 宿：21782 （　）	日：2689 宿：25578 （　）	日：2689 宿：25578 （　）	日：2770 宿：26345 （　）	日：2853 宿：27135 （　）
	実績	日：2744 宿：17777	日：2611 宿：24833	日：2042 宿：17410	—	—	—
延べ宿泊者数（人）	目標	6692 （　）	6161 （　）	6905 （　）	4603 （　）	4741 （　）	4883 （　）
	実績	7.6	6.7	7.9	—	—	—
来訪者満足度（%）	目標	93.88 （　）	86.00 （　）	86.00 （　）	86.00 （　）	86.00 （　）	86.00 （　）
	実績	90.05	93.46	93.3	—	—	—
リピーター率（%）	目標	65.32 （　）	65.00 （　）	65.00 （　）	65.00 （　）	65.00 （　）	65.00 （　）
	実績	69.25	65.40	68.9	—	—	—

戦略

【主なターゲット】
①関西・中四国地方の国内旅行者
②海外からの修学旅行の学生を中心としたインバウンド
【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
①隣接県からの交通の利便性が高く、短期間の旅行地域として来訪者が多い。満足度調査の充実などにより再来訪意向につながる要因を分析し、分析結果に基づいてターゲット層に強力に訴求するコンテンツを磨き上げる。
②満足度調査の充実などにより再来訪意向につながる要因を分析し、分析結果に基づいてターゲット層に強力に訴求するコンテンツを磨き上げる。

具体的な取組

【情報発信・プロモーション】
・情報発信事業
　レディオモモ，RSKラジオやテレビ，新聞を活用した矢掛町の情報発信を行った。
・プロモーション
　近隣市町で開催される観光PRイベント等に参加し，矢掛町のプロモーションを実施した。また，観光関連セミナー等での事例発表やパネリストとして参加し，魅力発信に努めた。
【観光資源の磨き上げ】
・農泊事業の取組
「おかやま元気集落」登録地域と連携し，農業体験となりえる素材の発掘と磨き上げを行った。